

# クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



# X32 COMPACT デジタルミキサー

16 プログラム可能な MIDAS プリアンプ、17 モーターフェーダー、チャンネル LCD、USB オーディオインターフェイスおよび iPad/iPhone リモートコントロールを搭載した 40 インプット、25 バス デジタルミキシングコンソール



安全にお使いいただくために



**CAUTION** RISK OF ELECTRIC SHOCK! DO NOT OPEN! ATTENTION



感電の.恐れがありますので、カ バーやその他の部品を取り外

したり、開けたりしないでください。高品 質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準 ケーブルおよびツイスト ロッキング プラ グケーブル)を使用してください。



#### 注意

火事および感電の危険を防ぐ ため、本装置を水分や湿気の

あるところには設置しないで下さい。装置 には決して水分がかからないように注意 し、花瓶など水分を含んだものは、装置の 上には置かないようにしてください。



#### 注意

このマークが表示されている ★箇所には、内部に高圧電流が 生じています。手を触れると感電の恐れが あります。



取り扱いとお手入れの方法に ついての重要な説明が付属の 取扱説明書に記載されています。ご使用の



#### 前に良くお読みください。 注意

- 1. 取扱説明書を通してご覧ください。
- 2. 取扱説明書を大切に保管してくだ さい。
- 3. 警告に従ってください。
- 4. 指示に従ってください。
- 5. 本機を水の近くで使用しないでくだ さい。
- 6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使 ってください。
- 7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、 適切な換気を妨げない場所に設置してく ださい。取扱説明書に従って設置してくだ さい。
- 8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、 ストーブ、調理台やアンプといった熱源か ら離して設置してください。
- 9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないで ください。二極式プラグにはピンが二本つ いており、そのうち一本はもう一方よりも幅 が広くなっています。アースタイプの三芯プ ラグには二本のピンに加えてアース用のピ ンが一本ついています。これらの幅の広い ピン、およびアースピンは、安全のためのも

のです。備え付けのプラグが、お使いのコン セントの形状と異なる場合は、電器技師に 相談してコンセントの交換をして下さい。

- 10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりし ないようご注意ください。電源コードやプ ラグ、コンセント及び製品との接続には十 分にご注意ください。
- 11. すべての装置の接地 (アース) が確保 されていることを確認して下さい。



**12.** 電源タップや 電源プラグは電 源遮断機として利 用されている場合 には、これが直ぐ に操作できるよう 手元に設置して下 さい。

- 13. 付属品は本機製造元が指定したもの のみをお使いください。
- **14.** カートスタンド、三脚、ブラケット、 テーブルなどは、本機製造元が指定したも の、もしくは本機の付属品となるもののみ をお使いください。カートを使用しての運 搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご 注意ください。
- 15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用に ならない場合は、電源プラグをコンセント から抜いてください。
- 16. 故障の際は当社指定のサービス技術 者にお問い合わせください。電源コードも しくはプラグの損傷、液体の装置内への浸 入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿 気に装置が晒されてしまった場合、正常に 作動しない場合、もしくは装置を地面に落 下させてしまった場合など、いかなる形で あれ装置に損傷が加わった場合は、装置 の修理・点検を受けてください。



**17.** 本製品に電源コード が付属されている場合、 付属の電源コードは本製 品以外ではご使用いただ けません。電源コードは 必ず本製品に付属された 電源コードのみご使用く ださい。

#### 法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は 予告なく変更される場合がありま す。またその内容の正確性について、 いかなる保証をするものではありませ ん。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべ ての商標はそれぞれの所有者の財産で す。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべ て、もしくは一部の記述、画像および声 明を基にお客様が起こした行動によって 生じたいかなる損害・不利益等に関して も一切の責任を負いません。色およびス

ペックが製品と微妙に異なる場合があり ます。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の 正規代理店のみが行っています。ディスト リビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示 された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。 この説明書は、著作権保護されていま す。本取扱説明書に記載された情報内容 は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事 前の許諾がない限り、いかなる利用者もこ れを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ 替え、工作することは禁じられています。

#### 製権所有

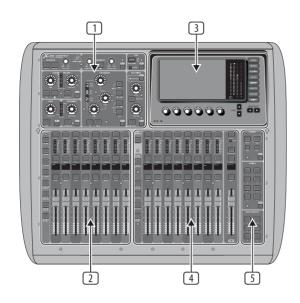
© 2013 MUSIC Group IP Ltd. Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

#### 限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定 保証に関する概要については、オンライン 上 www.music-group.com/warranty にて詳細を ご確認ください。



はじめに



#### ミキサー操作の概要

X32 デジタル ミキシング コンソールのクイックスタートガイドへようこそ! このガイドでは、ミキサーの基本操作を説明し、即座に使用出来るようサポートします。ぜひこのガイドに目を通しながら、コンソールの他の画面や操作を色々と試してみる事をお奨めします。コンソールのユーザーインターフェイスは非常に簡単にナビゲートおよび学ぶことができるように設計されています。behringer.comでは英語のユーザーマニュアル PDF をダウンロードおよび閲覧することができます。

#### ユーザーインターフェイスの操作

X32COMPACT のユーザーインターフェイス は 5 つの主要なセクションに分かれています。:

- チャンネルストリップおよびモニタリング
- 2 インプットチャンネル
- ③ ディスプレイ
- 4 グループ / バス / メインチャンネル
- ⑤ シーン / アサイン / ミュートグループ

#### View ボタンアプローチ

コンソール上部パネルには小さな View ボタンをすぐに見つけることができるでしょう。 View ボタンは押されたセクションに関連する情報をコンソールの大型カラーディスプレイ (メインディスプレイ) に切り替えて表示します。

例えばあなたがイコライザーを編集していて、EQ の周波数レスポンス曲線または対応する EQ パラメータ値をメインディスプレイで確認したい場合、EQ セクション内の Viewボタンを押して下さい。また、モニター信号がルーティングされている場所を確認する必要がある場合には、Monitor セクション View ボタンを押すと、メインディスプレイに詳細が表示されます。

View ボタンアプローチは常に該当する画面 に直接行くことができるので、X32 コンソー ルのメニューのページをスクロールする必 要がほとんどありません。

メモ: メインディスプレイの Setup/Global タブにて、View ボタンと Select ボタンの環境設定を調整可能です。

#### ユーティリィティページ X32 COMPACT のカ スタマイズ

メインディスプレイの右側にある Utility ボタンを押してください。ボタンメニューは 状況に応じて数多くの機能を表示します。 例えば:

- コンソールチャンネルのイコライザーを 調整する場合、Utility ボタンを押すとこ こでイコライザー設定のコピー & ペース ト、ロード / セーブが可能になります。
- チャンネルセレクトボタンを押しながら Utility ボタンを押すとチャンネル名などの 設定画面が表示され、メインディスプレ イと小さなチャンネルディスプレイの両 方にチャンネル表示をカスタマイズ可能 です。

- Routing ページでは Utility ボタンを押すと、ルーティングシナリオの異なるプリセットのロード / セーブが可能です。
- Scenes メニューで Utility ボタンを押すと、 コンソールシーンのコピー、ロード、セー ブおよび名前を設定できます。

#### 特定項目の調整



メインディスプレイ上 の個々のページのい くつかは下の 6 つの ロータリープッシュエ ンコーダーによって多 くの調整可能なパラ メータが含まれてい ます。この場合ページ番号の表示は小さな 1/2 (図参照) です。レイヤーを切り替える には Layer ▲/▼ボタンを押します。



### セクション 1: チャンネルストリップとモニター

X32 のチャンネルストリップは現在選択されているチャンネルの最も重要な処理を行うパラメータのコントロールです。チャンネルストリップのコントロールを調整するには目的のインプットまたはアウトプットチャンネルの Select ボタンを押します。

チャンネルストリップ (例えば、ローカットフィルター、ノイズゲート、EQ、コンプレッサーなど) のセクションではそれぞれの名称が付いたボタンでオン / オフ可能です。ボタンは効果が有効であることを示すために点灯し、バイパス時には暗くなります。

チャンネルストリップ内、アンバーの LED で囲まれたロータリーコントロールノブは パラメータの値を示します。ノブ自体のバックライトがオフになっている時には特定の制御 / パラメータが選択したチャネルタイプには使用できない事を示しています。例えば、アウトプットバスが現在選択されている場合、ゲインノブおよび周りの LED リングは消灯しています。これはアウトプットバス上では入力ゲインを制御することがないためです。

チャンネルストリップは以下のサブセクションで構成されています:

- Config/Preamp
- Gate, Dynamics

- Equalizer
- Main Bus

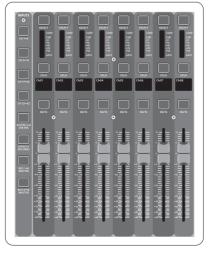
これらの各サブセクションは現在選択されているチャンネルの処理ステップに対応した独自の View ボタンを持っています。これらが選択された場合、メインディスプレイにそのサブセクションに関連するすべてのパラメータを表示します。

#### モニターとトークバック

このセクションには 2種のレベルコントロール、1つはコンソール両サイドのヘッドフォンアウト、もう 1つはリアパネルにあるモニターアウト用があります。

セクションの View ボタンを押すとヘッドフォンアウトやモニターアウト用のインプットソースの選択などさまざまなモニター設定を編集できます。

また、このセクションには独立した Talkback ボタン (A, B) があります。Phones Level ノブセクションの View ボタンを押し Page Select 右を押すと、Talkback A や Talkback B の編集ページにアクセスすることができます。また、このスクリーンにはグースネックランプや内臓テストトーンジェネレータの設定があります。



#### セクション 2: インプットチャンネル バンク

各チャンネルの上には Select ボタンがあり、すべてのチャンネルに関連したパラメーター群 (チャンネルストリップ、メインディスプレイ) をダイレクトにコントロールできるようなユーザーインターフェイスとなっています。常に 1 つのチャンネル (Ch 1-32, Aux 1-8, FX Returns 1L-4R, Mix Bus 1-16, Main LR/C, Matrix 1-6等) が選択されていることに気をつけてください。尚、DCA グループは複数アサインされたチャンネルをコントロールするので選択ができません。

コンソールのインプットチャンネルセクションは左側にあり、8 基個々のチャンネルストリップが用意されています。

- インプットチャンネル 1-8
- インプットチャンネル 9-16
- インプットチャンネル 17-24
- インプットチャンネル 25-32
- Aux インプット 1-6/USB 再生
- エフェクトリターン

コンソール左側に位置する 6 つのレイヤーボタンは上記のそれぞれに相当するレイヤーへインプットチャンネルバンクを切り替えます。ボタンが点灯し、どのレイヤーが有効になっているかを知らせます。

#### はじめに

残り 2 つのレイヤー(BUS MASTER 1-8 および 9-16) は 16 Mix Bus Masters のレベルを調節 し、DCA Group アサインに Bus Masters を含め る時に便利です。

各フェーダーストリップはモーターを装備 した 100 mm ストロークのレベルフェーダ ー、Mute ボタン、Solo ボタン、Gate インジケ ーター、インプットレベルメーター、コンプ レッサーインジケーター、チャンネル Select ボタンを持っています。

8 インプットチャンネルそれぞれに独自の カラー LCD スクリーン (カスタマイズ可能) を持ち、チャンネルナンバー、ニックネー ム、アイコンなどを表示します。この LCD

ディスプレイはチャンネルのインプットが切 り替わった時には異なったインプットソー ス名を表示し、デフォルトセットアップと異 なったことを知らせます。



例: チャンネル 01 はサウンドカードのニックネームを 持ち、Aux5から入力が供給される等。



#### セクション 3: メインディスプレイエリア

メインカラーディスプレイは様々なセクシ ョンの情報を表示します。View ボタンによ って異なったスクリーンに切り替えたり、 ディスプレイ右側の8つのボタンで切り替 えることができます。

メインディスプレイの左上側には現在選択 されているチャンネル番号、ニックネーム、 アイコンを表示します。次のブロックには 現在のシーン番号と名前がアンバー色で 表示され、次のシーンも同時に表示されま す。中央のブロックにはレコーダーのステ ータスアイコンと経過時間、残時間および 再生ファイル名が表示されます。 次のブロ ックには 4 つの区切りで示される AES50 ポ ート A と B、カードスロット、オーディオ同 期クロックソースとサンプルレート(右上) の各ステータスがあります。小さな緑の四 角は正常に接続されていることを示してい ます。一番右側のブロックにはコンソール の時間が表示され、Setup/Config にて設定可 能です。

任意スクリーンで作業中、ディスプレイ枠 にある Page Select キーを押すと異なったス クリーンへと切り替えることができます。

パラメータを設定および編集するにはディ スプレイ下 6 つのプッシュエンコーダーを 使います。

- 連続的なコントロールもしくはリスト入 力時には該当するノブを回して編集を行
- 下のフィールドにはトグル機能のある長 方形ボタンスイッチがあります。 該当する エンコーダーを押してオン / オフを行い ます。長方形ボタンがアンバーのときは オンもしくは有効に、ダークグレイの時 にはオフもしくは無効になっています。



#### セクション 4: Group/Bus チャンネルバンク

このヤクションの 8 基のチャンネルストリ ップは下記のレイヤーに分かれています。

- 8 DCA (デジタル制御アンプ) グループ
- Mix Bus マスター 1-8

- Mix Bus マスター 9-16
- Matrix Outputs 1-6, メインセンターバス このセクションにはどのレイヤーやチャン ネルバンクがアクティブになっていても機 能するメイン LR アウトプットフェーダーが あります。

DCA グループのレイヤーを使用中に は DCA グループはソロ / ミュートが 可能ですが選択することはできま せん。DCA グループの名前、アイコン、 色等を変更するにはメインディスプレ イの Setup/DCA Groups ページで行います。

アイコンの色も Utility と Select ボタンを 同時に押すことによって編集することが できます。一度このスクリーンが開かれ ると、他のチャンネルも選択することが できるのでレイアウトの編集を一度に行 うことができます。

#### セクション 5: 様々なアサイン (DCA グルー プ、Mute グループ、カスタムアサインコン トロール)

#### • DCA グループアサイン

個別な 2 つのフェーダーグループ (左側: インプット、右側: アウトプット) によりバーチャル DCA Group へのチャンネ ルアサインおよびバスアサインはとても 楽な作業となります。コンソールの右側の 各 DCA グループの Select ボタンを押したま ま DCA グループにアサインしたいインプッ トチャンネルの Select ボタンを押すだけで す。またDCA グループ Select 押すと、どのチ ャンネルがすでにアサインされたかをボタ ンが点灯して知らせます。

#### • Mute グループアサイン

ミュートグループのアサイン作業は上記と 同様ですが、本番中に誤ってオンラインの チャンネルまでミュートされないようにデ ザインされています。インプット / アウト プットチャンネルを 6 つの Mute Groups の 1 つヘアサインするには (Main LR フェ ーダーの右にあるボタン群によってコン トロール)、まずメインディスプレイ右 側の Mute Grp ボタンを押します。任意の Mute Groups ボタンを押したまま目的のイン プット / アウトプットチャンネルを選択し ます。これでミュートグループのアサイン が終わりました。アサインが終わったらデ

ィスプレイの Mute Grp を再び押してオフに します。6つの Mute Groups ボタンが使用可 能になりました。

#### • カスタムアサインコントロール

コンソールの Assign セクションには A, B, C の 3 バンクを持つ 8 個のボタンで 24 種 の機能を自由にカスタマイズすることが できます。

カスタムアサインを行うには:

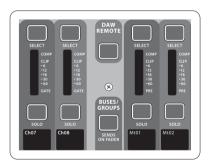
- Assign セクションの View ボタンを押し ます。
- 編集したいコントロールセット (A, B, C) を選択します。
- アサインしたい 1 から 8 までのコント ロールを選択します。
- 機能をアサインもしくはコントロールし たいパラメーターを選択します。

通常これは特定のチャンネルパラメータ (例: リードボーカリストのリバーブオン / オフ等) に使用されます。

Jump-to-Page コントロールは特別なタイプ の設定で、いかなるオーディオパラメータ も変更しませんが特定のディスプレイペー ジヘジャンプさせるのに使われます。

#### "Sends on Faders"機能

コンソールには 2 つのフェーダーセクショ ン間に "Sends on Faders" 機能を持つとても 便利なボタンがあります。



"Sends on Faders" 機能は任意の Mix Buses へ送るチャンネルレベル設定に役立ち ます。Mix Buses 1-16 へのチャンネルアサイ ンのみの機能で DCA グループやメイン およびマトリックスバスでは機能しませ ん。"Sends on Faders"は殆どのライブサウン シーンにおいて使える機能です。

#### はじめに

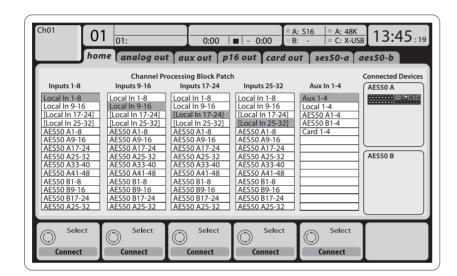
#### 特定のミュージシャンへのモニターミック インプット信号がどこに送られたかを確認 スを準備するには

- ステージモニターに接続されているモニ 左側セクションのインプットチャンネル ターバス (1-8,9-16) を選択します。
- Sends on Faders ボタンを押して点灯させ ます。
- 6 つのインプットチャンネルレイヤーの 1つを選択します。
- Sends on Faders が有効な間はインプットチ ャンネルセクションにあるすべてのフェ ーダー (コンソール左側) は選択されたミ ックスバス (モニター) のセンドレベルに 一致します。

### および編集をするには

- を選択します。
- Sends on Faders ボタンを押して点灯させ
- バスチャンネルレイヤー 1-8 または 9-16 を選択します。
- バスフェーダー (コンソール右側) には選 択されたインプットチャンネル(コンソー ル右側) のセンドレベルが現れます。

Sends on Faders 機能は両方法ともインプット またはアウトプットチャンネルを選択する ことは X32 では特殊です。



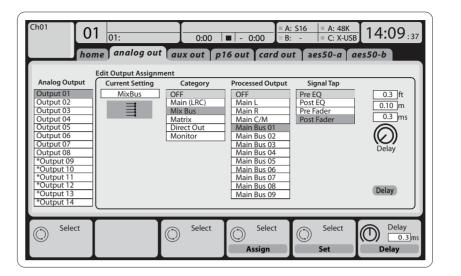
#### ルーティング I/0

リアパネルにはマイクプリアンプを装備した 16 基の XLR インプット、8 基の XLR アウトプ ット、6 基の TRS Aux センド / リターン、そし て 2 基の AES50 ポートは 48 チャンネル分の インプットアウトプットを扱うことのできま す。また 32 チャンネル分のインプットアウト プットを扱うことのできる USB 2.0 またはコン ピューターインターフェイス用のカードスロ ットを装備しています。

インプット信号はコンソール内蔵オーディオ プロセッシングエンジンにより 8 シグナルブ ロックのうち 1 つのインプットソースとして 扱われます。

注意: すべてのオーディオプロセッシングに パッチングされたすべてのシグナルブロック は自動的に対応するインプットチャンネルへ 接続されます。

インプット 17-24 と 25-32 には括弧がついて います。これはこの機器では物理的に使用 できないことを示しています。これらをアサ インしても信号がどこにも接続されません が、これは X32 コンソール用に用意されてい るためです。



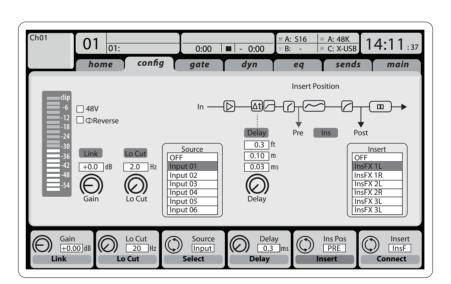
• 16 チャンネルパーソナルモニター P16 用の Bus アウトプットコネクター

信号は上記すべてもしくは部分的に 8 シグナルブロックとして下記へミラーリ ングすることができます。

- AES50 ポート A の 48 チャンネル
- AES50 ポート B の 48 チャンネル
- USB インターフェイスカードの 32 チャ ンネル

Output Signals は内部信号から下記のコネ クターへ自由にアサイン可能です。

- 8 アナログ XLR アウトプット (スピーカー 時間差補正用ディレイ機能付)
- 8 ヴァーチャルアウトプット (\*) は AES50 のカード出力にルーティングされます
- 6 AUX センド: ¼" TRS アウトプット +2 AES/EBU アウトプット



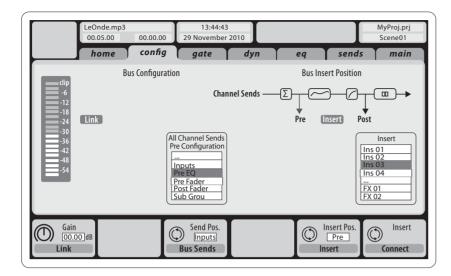
Input Channels 1-16 は初期設定ではインプ ット信号 1-16 になっていますが、ミックス バス / サブグループアウトプットを含む 他のオーディオエンジンへパッチするこ とができます。チャンネルソースの変更は Preamp Config ページで行います。

Input Channels 17-32 は初期設定では AES50 A インプット 1-16 になっています。これはポ ート A に S16 ステージボックスを接続し て自動的にチャンネルを振り分けるため です。

Aux リターン チャンネル 1-8 は初期設定 では 6 AUX インプット信号と 2 USB プレイ バックアウトプットになっていますがコンソ 一ル内の利用可能な信号にもパッチング可 能です。

FX Return Channels 1L-4R はサイドチェイン 4基のステレオアウトプットシグナル FX 1-4 として扱われます。

#### はじめに



Mix Bus Channels 1-16 の設定はプリセットが可能で (Setup/Global ページ) 個々またはチャンネル毎に以下の設定が可能です。

- インサートポイント(ポストフェーダー、 プリフェーダー切り替え)
- ブリフェーダー切り替え)
   6 バンド フルパラメトリック EO
- コンプレッサー / エキスパンダー (ポスト EQ、プリ EQ 切り替え)
- 6 マトリックスへのバスセンド (プリ EQ、ポスト EQ、プリフェーダー、 ポストフェーダー、サブグループ)
- Main LR パン
- Mono/Center レベル

Main Bus Channels LR/C はミックスバスから独立して常に利用可能です。このシグナルパスの設定は以下の通りです。

- インサートポイント (ポストフェーダー、 プリフェーダー切り替え)
- 6 バンド フルパラメトリック EQ
- コンプレッサー / エキスパンダー (ポスト EQ、プリ EQ 切り替え)
- 6 マトリックスへのバスセンド (ポストフェーダー)

**Matrix Channels 1-6** は MAIN LRC とミックスバス 1-16 信号へ独占して接続されます。設定は以下の通りです。

- インサートポイント (ポストフェーダー、 プリフェーダー切り替え)
- 6 バンド フルパラメトリック EQ
- コンプレッサー / エキスパンダー (ポスト EQ、プリ EQ 切り替え)

#### エフェクトプロセッシング 1-8

X32 COMPACT コンソールは 8 つのトゥルーステレオエフェクトエンジンを搭載しています.

- FX1-4 はサイドチェーンまたはインサート エフェクトとして設定することができます。FX5-8 はチャンネルまたはバスのインサートポイントのみで使用することができます。
- サイドチェーン FX1-4 リターンは常にインプットチャンネルの 6番目のバンク(レイヤー)として制御することができます(FX リターン)。FX1-4のリターン信号は左右別々のフェーダーを持っていることに注意してください。
- FX のホーム画面では各 8FX スロットのバーチャルラックや FX 1-4 の入力ソースやエフェクトの種類 / アルゴリズムなどを選択できます。
- FX 画面の FX1-FX8FX タブでは選択され たエフェクトプロセッサーのパラメータ の編集を行うことができます。

#### X32 COMPACT iPad アプリ

専用 iPad 用アプリケーションによって、X32 COMPACT コンソールの多くの機能がリモートコントロールできます。アプリのダウンロード、セットアップと操作についての詳細は X32 COMPACT 製品ページからダウンロードできるユーザーズマニュアルに記載されています。

ユーザーインターフェイスは iPad のタッチスクリーンに最適化され、コンソールの最も重要なリモート機能に集中しています。アプリを使用するとオーディエンスとまったく同じミックスを聞きながら、ミュージシャンと対話中にステージからモニターミックスを調整したり、オーディエンス側からFOHミックスを調整することができます。

### X32 COMPACT Windows/OS X/Linux アプリケーション

ホストコンピューターで編集可能なリモートエディターも提供され、Ethernet 接続で32 COMPACT の完璧なコントロールが可能となります。アプリのダウンロード、セットアップと操作の詳細は X32 COMPACT の製品ページからダウンロードできるユーザーズマニュアルに記載されています。

メモ: X32 COMPACT リモートコミニュケーションは OSC (open sound control) に準じたプロトコルになっています。デベロッパーが独自のコントロールソフトウェアをデザインできるように behringer.com にて OSC プロトコルの詳細を公開しています。

#### X-USB エキスパンジョンカード

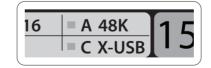
X-USB カードにより、接続されたコンピュータへ 32 チャンネルまでの伝送が可能です。コンピュータにミキサーを接続する前に behringer.com から X-USB ドライバとクイックスタートガイドをダウンロードしてください。

#### スタート、シャットダウン及びアップデ ート:

最初に X32 ミキサーの電源をオンにしてからスピーカーを接続し、電源をオフにしてからスピーカーを外すことを心がけてください。これはスタートアップ / シャットダウンプロセス中の予期しないノイズ発生から機器を守るためです。

セットアップ画面の一般設定ページでは、Safe Main Levels 機能があります。アクティブにすると、コンソールの起動時には自動的にメイン LRC レベルをミュートします。また、様々なシーンにおいて電源の影響を抑えることができます。

コンソールの同期とサンプルレートは
Setup/Config ページで設定することができますが、いかなる変更もコンソールの再起動を要求しますのでご注意ください。メインディスプレイの上部にある赤い小さな四角の指示が表示されたら、同期設定の
Setup/Config が適正となっているかどうかを確認してください。(セクション 3 を参照)



コンソールを他の誰かによって使用されたり、特定のルーティングの状態についてわからなくなった場合は、次の2つの方法で X32の設定をデフォルト状態にリセットすることができます:

 コンソールが起動し「X32」ロゴがスク リーンに現われたら、Scenes セクション の Undo ボタンを押したままにし、ホー ムスクリーンが現れてコンソールが完 全に使用可能な状態になるまでボタンを離さないでください。コンソールは工場出荷時と同じ状態になります。また、起動後すぐに Scenes/Undo ボタンを押すことにより、コンソールが最後にオフにされたときの状態に戻すことができます。また、Setup/Config を押してから、"Initialize"を実行することによってコンソールをいつでも初期化することができます。

メモ: コンソールを初期化すると、現在表示されているデータまたは保存されたシーンは自動的に消去されません。すべてのシーンをクリアしたい場合は Setup/Configページの Initialize All Show Data で行ってください。

ストア操作中に電源が切れたことによるエラーを防止するために、Setup/Global ページの "Safe Shutdown"機能を使用することをお勧めします。

注意: The X32 COMPACT は Setup/Global ページの Lock Console を使うことにより、他の誰かによって操作されるのを防ぐことができます。この状態ではユーザーインターフェイスがどのような変更も受け付けず、ディスプレイには "X" マークを表示します。ディスプレイ右の HOME ボタンを5秒間押したままにすることで X32 COMPACT をロック解除することができます。

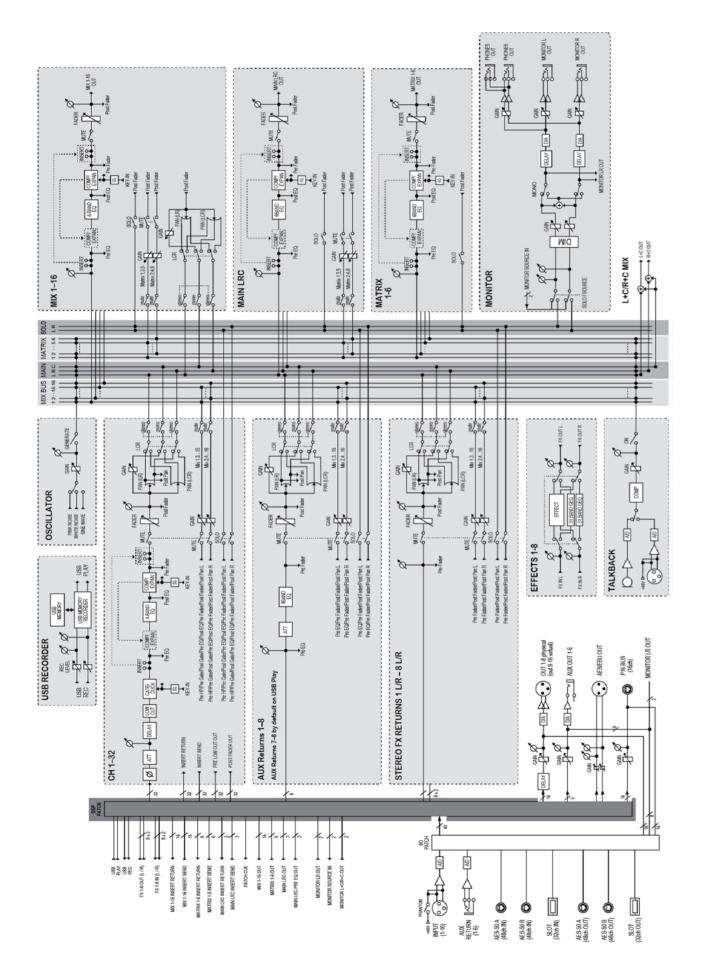
X32 COMPACT のファームウェアは以下の 手順によって簡単に更新することがで きます。

- USB ドライブのルート上に X32 の製品ページから新しいコンソールファームウェアをダウンロードします。
- コンソールの電源がオフになっている間に、トップパネルの USB コネクターにUSB メモリを差し込みます。

• コンソールのスイッチを入れてください。起動時に X32 COMPACT は完全自動でファームウェアのアップデートを実行します。これには通常の起動より2、3 分長くかかります。

注意: X32 COMPACT キャビネットの最下部のファン開口部をふさがないでください。 大型の低速回転ファンはほとんど音がしませんが確実に動作しています。特にハードケース等に X32 COMPACT をマウントするときには空気の流れを確保にするため、下には十分なスペースを空けてください。

# X32 COMPACT デジタルミキサー ブロックダイヤグラム



# 技術仕様

<b>プロセッシング</b>	
プロセッシングチャンネル数	32 入力チャンネル, 8 aux チャンネル, 8 FX リターンチャンネル, 16 aux バス, 6 マトリクス, main LRC
エフェクトエンジン, トゥルーステレオ / モノラル	8 / 16
トータルリコールシーン (プリアンプおよびフェーダー含む)	100
シグナルプロセッサー	40 ビット フローティングポイント
A/D-D/A コンバーター(Cirrus Logic A/D CS5368, D/A CS4385)	24 ビット @ 44.1 / 48 kHz, 114 dB ダイナミックレンジ
ローカル I/O レーテンシー(ローカルイン > コンソールプロセッサー* > ローカルアウト)	0.8 ms
ネットワーク I/O レーテンシー (ステージボックスイン > コンソールプロセッサー* > ステージボックスアウト)	1.1 ms
コネクター	
XLR 入力, プログラミング可能なマイクプリアンプ, MIDAS デザイン	16
トークバックアウト入力, XLR	1 外部 (+内蔵マイク)
RCA 入力/出力	2/2
XLR 出力	8
モニター出力 ¼" TRS バランス	2
Aux 入力 / 出力, ¼" TRS バランス / アンバランス	6/6
ヘッドフォーン出力, ¼" TRS	2 (ステレオ)
デジタル AES/EBU 出力, XLR	1
AES50 ポート, SuperMAC	2
エクスパンジョンカードスロット	32 チャンネルオーディオ入力 / 出力, 規格多様
P-16 コネクター, Ultranet (電源供給不可)	1
MIDI 入力 / 出力	1/1
Ethernet, RJ45, 背面, リモートコントロール用	1
USB タイプ A, 上面, オーディオおよびデータのエクス ポート / インポート用	1
USB タイプ B, 背面, システムアップデート用	1
マイク入力特性	
プリアンプデザイン	MIDAS
THD+ ノイズ, 20 Db ゲイン, 0 dBu 出力	< 0.006% A-weighted
入力インピーダンス XLR 端子, アンバランス / バランス	5 kΩ / 10 kΩ
ノンクリップ最大入力レベル, XLR	+23 dBu
ファンタム電源, 各入力スイッチ可	48 V
等価入力ノイズレベル, XLR (入力ショート)	-128 dBu
CMRR, XLR, @ 20 dB ゲイン (一般)	> 70 dB
CMRR, XLR, @ 40 dB ゲイン	> 80 dB

クイックスタートガイド 15

#### 入力 / 出力特性 周波数帯域, @ 48 kHz サンプルレート, 0 dB to -1 dB 10 Hz - 22 kHz ダイナミックレンジ、アナログインからアナログアウト (一般) 106 dB A/D ダイナミックレンジ, プリアンプからコンバーター (一般) 109 dB D/A ダイナミックレンジ, コンバーターから出力 108 dB クロストーク @1kHz, チャンネル調整 100 dB 出力レベル、XLR、ノーマル / 最大. +4 dBu / +21 dBu 出力インピーダンス, XLR, アンバランス / バランス 75 Ω / 75 Ω 入力インピーダンス TRS 端子, アンバランス / バランス $20 k\Omega / 40 k\Omega$ ノンクリップ最大入力レベル、TRS +16 dBu ノーミナル出力、TRS +4 dBu / +16 dBu 出力インピーダンス, TRS, アンバランス / バランス 150 Ω / 300 Ω ヘッドフォーン出力インピーダンス / レベル 40Ω/+25 dBm (ステレオ) 残留ノイズレベル、XLR および TRS -87 dBu A-weighted) ディスプレイ メインスクリーン 7", 800 x 480, 262k カラーTFT チャンネル LCD スクリーン (17基) 128 x 64, LCD RGB カラーバックライト メインメーター 24 セグメント (-57 dB からクリップ) 電源 スイッチング電源 オートレンジ 100-240 V (50/60 Hz) 消費電力 120 W 仕様 標準動作温度範囲 $5^{\circ}\text{C} - 40^{\circ}\text{C} (41^{\circ}\text{F} - 104^{\circ}\text{F})$ 寸法 215 x 625 x 510 mm (8.5 x 24.6 x 20") 重量 15.4 kg (33.9 lbs)

iPhone, iPad, OS X は US および各国で登録された Apple Inc. の商標です。Windows は US および各国で登録された Microsoft Corporation の商標です。 Linux は Linus Torvalds の商標です。

### その他の重要な情報

#### JP

#### その他の重要な情報

# ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230Vと120Vの

1. ヒューズの格納部/電圧の選択:

使用していることを確認してください。 ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、 ヒューズの格納部を備えているものが あります。正しくない値のヒューズは、 絶対に適切な値のヒューズに交換されて いる必要があります。

- 2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにないときは、behringer.comの "Support" 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.comの "Support" 内にある"Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.comで、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。
- **4. AES50:** EUの EC EMC 2004/108/EC および USの FCC パート 15 の基準に準拠しています。Behringer X32 の AES50 ポート A/B におけるすべての Ultranet, Ethernet 接続は CAT5/5e または CAT6 シールドケーブルでなければなりません。

<sup>\*</sup> すべてのチャンネルとバス処理を含む、インサートエフェクトとラインディレイを除く



We Hear You

